

開講科目名	日本語作文中上級B			
成績入力担当	前田 真奈美	開講区分		単位数
		第2クォーター		0.0単位
ナンバリングコード	R1IG070	曜日・時限等	水3(対面)	時間割コード

#### 授業のテーマ

中上級レベルの作文能力の育成を図る。

#### 授業の到達目標

1. 自らの専門分野や関心を持つ分野について、資料などを参照しながら、平易な言葉で概要を説明できる。
2. 比較的身近な社会問題について、与えられたデータや資料に基づいて、複数の段落から成るまとまりのある文章で自らの意見を書くことができる。
3. 書き言葉的な接続詞や中上級レベルまでのモダリティ形式を適切に使うことができる。

#### 授業の概要と計画

本授業は対面で実施します。

具体的な各回の内容は以下の通り。

- 第1週 (6/10) オリエンテーション/接続詞と段落の構成
- 第2週 (6/17) 形が似ている表現を使い分ける
- 第3週 (6/24) 過去と現在のつながりを示す
- 第4週 (7/1) 「は」と「が」を使い分ける
- 第5週 (7/8) 意味を述べる文末表現の使い分け
- 第6週 (7/15) 前の文に関係づける「のだ文」の使い方
- 第7週 (7/29) まとめ・テスト
- 第8週 (8/5) 課題学習

\*シラバスは、変更される可能性があります。最新情報は授業に出て確認すること。

#### 成績評価方法

授業活動及び参加度、課題、最終試験で評価する。

- ①最終試験50%
- ②課題40% (詳細については授業内で説明する)
- ③授業活動及び授業参加度10%

#### 成績評価基準

- ①最終試験は、テーマについて論理的な構成で習った文型や表現を使って自らの主張を伝える小論文作成ができるかどうかで評価する。
- ②課題は、提出状況と、トピックについて授業で習った文型や表現を用いてまとまりのある文章が書けているかどうかで評価する。
- ③授業活動及び授業参加度は、授業への集中度と、授業活動への主体的な貢献により評価する。

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF(不可)とする。

#### 履修上の注意（関連科目情報）

##### 対象者：

本授業は中上級レベルの授業である。中級レベルの学習を終えている、あるいは、GEC-JTestで「中上級レベル」と判定された学習者を対象とする。

\*交換留学生（特別聴講学生）履修可

##### 関連科目情報：

本授業を履修する前に「日本語作文中上級A」を受講しておくことが望ましい。

#### 事前・事後学修

事前学修：授業内で指示された内容や項目について自習しておくこと。

事後学修：授業内容を復習し、課題を期日までに提出すること。教師のチェックを受けた課題は読み返し、自己修正して再提出すること。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

#### オフィスアワー・連絡先

原則、クラス内で質問すること。授業時間外に質問があるときは、下記メールアドレスにメールを送ってください。

メールアドレス：cashy\_den\_fuku[AT]peridot.kobe-u.ac.jp

※上記のアドレスの [AT] の部分をアットマーク @（半角）に置き換えた上で宛先に入力。

#### 学生へのメッセージ

良いレポートを書くには、論理的な文章をなるべく多く読むことが大切です。また、作文を書く際の自分の間違いの傾向に気付き、自己修正できるモニター力を高めてください。

#### 今年度の工夫

お互いの作文を読み合い、意見交換する時間をもちます。語彙や表現を増やすだけでなく、他者の意見を参考にして内容についても深めていきます。

#### 教科書

使用する教材はBEEF上に掲載する。

教材は電子データで配布するため、パソコンまたはタブレットを持参すること。

スマートフォンの使用は不可とする。

#### 参考書・参考資料等

留学生のためのここが大切 文章表現のルール / 石黒圭・筒井千絵：スリーエーネットワーク，2009，ISBN:9784883195022

レポート・論文を書くための日本語文法 / 小森万里・三井久美子：くろしお出版，2017，ISBN:9784874247181

#### 授業における使用言語

日本語

#### キーワード

日本語、作文、中上級、交換留学生（特別聴講学生）可、